



第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：溝上 純一郎 / 副会長：池永 隆司 / 副会長：崎山 信幸 / 幹事：馬場 貴博

2015～2016 年度クラブスローガン

思いやりの心 奉仕の心で 友情を実践しよう



週報制作：会報・出席委員会／南部 建、田代博之、松尾英機、指山康二、崎元英伸、平岩義明、野村和義、宮崎祐輔

本日の出席率 69.04%：会員数 46名・出席 28名・欠席 12名・出席規定免除会員(6) 2名・ビジター 0名

前々回の修正出席率 100%：出席 34名・メークアップ 7名・出席規定免除会員 5名



会長挨拶／溝上 純一郎君



皆さんこんにちは。今年最後の会長挨拶です。今日の例会が終わると年末、正月。次回例会は1月14日、3週間後です。

私の会社も12月30日から1月5日まで7日間の長い冬季休みになります。今年、アベノミクス効果で円安、株高が少し進み、景況感が大都市では感じられるようですが、地方都市の長崎、佐世保では、まだまだ、その恩恵は感じられません。来年こそ景気が良くなるのを願うばかりです。

さて、作詞家の永六輔さんがその著書で、日本人について1週間で三つの宗教行事をする世界でも特異な民族だと書いてされました。12月24日はキリスト教徒になり、12月31日はお寺で除夜の鐘を突き、一夜明け1月1日、新年元旦には神社に初もうでに行く、不思議な民族だと述べてられます。ロータリークラブの寛容の精神とは少しちがうかもしれません、少しだけいい加減なのも人々の営みを円滑にするのに良いのかもしれません。

今日は、この後、時間をいただけるようですので、これで終わりにします。

Report 幹事報告／馬場 貴博君

1. 例会変更

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

1月26日(木)→1月27日(水) 18:30～

場所：インターナショナルカフェ

*新年夜例会の為

2. 来 信

・ガバナー事務所

ガバナー交代のお知らせ

太田義久 現ガバナー 2015年12月31日 退任

宮崎清明 現副ガバナー 2016年 1月 1日 就任

(^_^) ニコニコボックス

溝上 純一郎会長・池永 隆司副会長・崎山 信幸副会長 馬場 貴博幹事

今日は今年最後の例会です。半年間皆様に御協力頂きありがとうございました。まだまだ不慣れな運営ですが、残り半年どうぞよろしくお願いいいたします。年明けは1月14日木曜日、夜の例会になっております。1月7日の例会は休会ですので、くれぐれもお間違えのないようにお願いいいたします。それでは良い新年を迎えられますように。

岡光正君

メリークリスマス。今夜は教会に行きます。皆様のご健康を一緒に祈ってきます。来年もよろしくお願いいいたします。

芥川圭一郎君

五郎丸フィーバーで息子がなぜかラグビー部に入部しました。助っ人入部みたいですが、週末の試合が楽しみです。

本日の合計	6,000 円
本年度の累計	473,000 円

committee 委員会報告

前田真澄 中央会幹事

来年1月17日(日)に予定しています中央会、現在10名の参加を頂いております。年明け早々、まだご返事を頂いていない方に個別でご連絡をさせて頂きます。

又、市内8ロータリークラブ親睦ゴルフ大会が4月24日から4月17日(日)に変更になっております。

耳 本日の卓話

■ 会長卓話 ■

溝上 純一郎会長

今日は半年間を振り返ってというテーマですが、6月9日に会長卓話がありますので、その時に一年分話させていただきま

す。

ロータリークラブの発祥の国、同じ資本主義国、アメリカと日本のロータリアンの所属している企業の違いについて話させていただきます。

社員の違い

アメリカ企業

会社に対する忠誠心より仕事に対する忠誠心の方を強く持っている。会社より仕事、個人を大事にして仕事に協調性は日本程なく、自分の仕事に組織が必要なれば、自分一人で仕事に取り組むことが当たり前。ある意味、余計な人間関係を気にすることなく仕事に神経を注ぐという傾向にある。協調性は、社会人として当たり前であり、会社で教育するものではない。仕事の成果で給料がかわる。

日本企業

入社したら組織でどのように協調性を持って仕事に取り組むべきか?というような組織内の教育をする傾向がある。協調性や忘年会、飲み会等のコミュニケーションを求められるようです。社員は家族であり、その一家の子供や配偶者も同じ家族と考える。長時間労働も珍しくない。終身雇用で給料も勤務年数で上がっていく。

会社に対する考え方

会社は誰のもの

アメリカ

会社は株主のもの。社員は社長を含め株主の所有物です。お金で雇って、さらにお金を生み出す仕組みとして会社をとらえています。

日本

会社は社長や社員、一人一人のもので、やりたい仕事や、考えた仕事に対してスポンサーを探す考え方。

社長の違い

アメリカ

株主から任命された、雇われ経営者である事が多い。ノルマを課され、必死に経営を行う。

日本

終身雇用、年功序列制度の中、社長は長く会社に勤め、一人前に育てられていく。社長は社員の生活を守る使命と責任があると考え、年功序列の中で生え抜きが社長になりやすく、株主も介入しにくくなります。

給料

アメリカ

年功序列でなく、完全な実力主義で性別、年齢に関係なく能力、実績によって評価され給料が支払われます。優良企業では、おしなべて日本の社長より高い。勤務年数は日本より短い。

日本

年功序列、家族等の家庭環境、性別、学歴で給料が支払われます。優良企業ではアメリカ企業より給料は少なめ。勤務年数はアメリカより長い。

以上、日米で大まかこのようないいがあるようですが、昨今、少し時代は変わってきたように思われます。数年前、話題になつた企業、ライブドアの堀江貴文さんは、企業は株主の物と公言されました。豊富な資金で企業の買収をし、規模の拡大をされました。又、佐世保出身で日本マグドナルド元社長、現ベネッセの原田社長のように、「日本企業に結果こそすべてであり仕事と家庭、頭を使う時間と体を使う時間、そのバランスがなければ新しい発想は生まれない」と提言してます。「プライベートを顧みない、長時間労働や会社に対する忠誠心に頼る経営から脱脚しなければならない。これから日本企業は、コスト競争力で負け、生産性、品質だけで勝てる時代ではない」と話されています。国際化が進む企業の在り方は、益々難しくなるようです。

私どもの瓦工事業界の現状も厳しいものがあります。5年ほど前、過去10年で瓦工事業者が3割減少したといわれていました。作今、さらに住宅着工件数の減少と屋根材の変化、金属屋根等の変化で年々、厳しくなっているようです。しかし、屋根材では瓦に勝る耐用年数、断熱性能は他の屋根材にはありません。50年以上の耐用年数がある瓦は日本の和の文化、壱の文化は大事にしたいものです。

memo